



避難所の生活と 豊かさ

1年5組 大倉 蓮華

目次

- 探求の背景と目的
- 仮説
- 検証と結果
 - ・ アンケート
 - ・ ネット上からの文献
- 考察
- 結論



探求の背景と目的

- 災害時、避難所で実際にどのような部分が不便だと感じられるのかより詳しく避難所の実態について知りたいと思った
- なぜ日本が災害対応の面で後進国といわれるのか理由を知りたかった

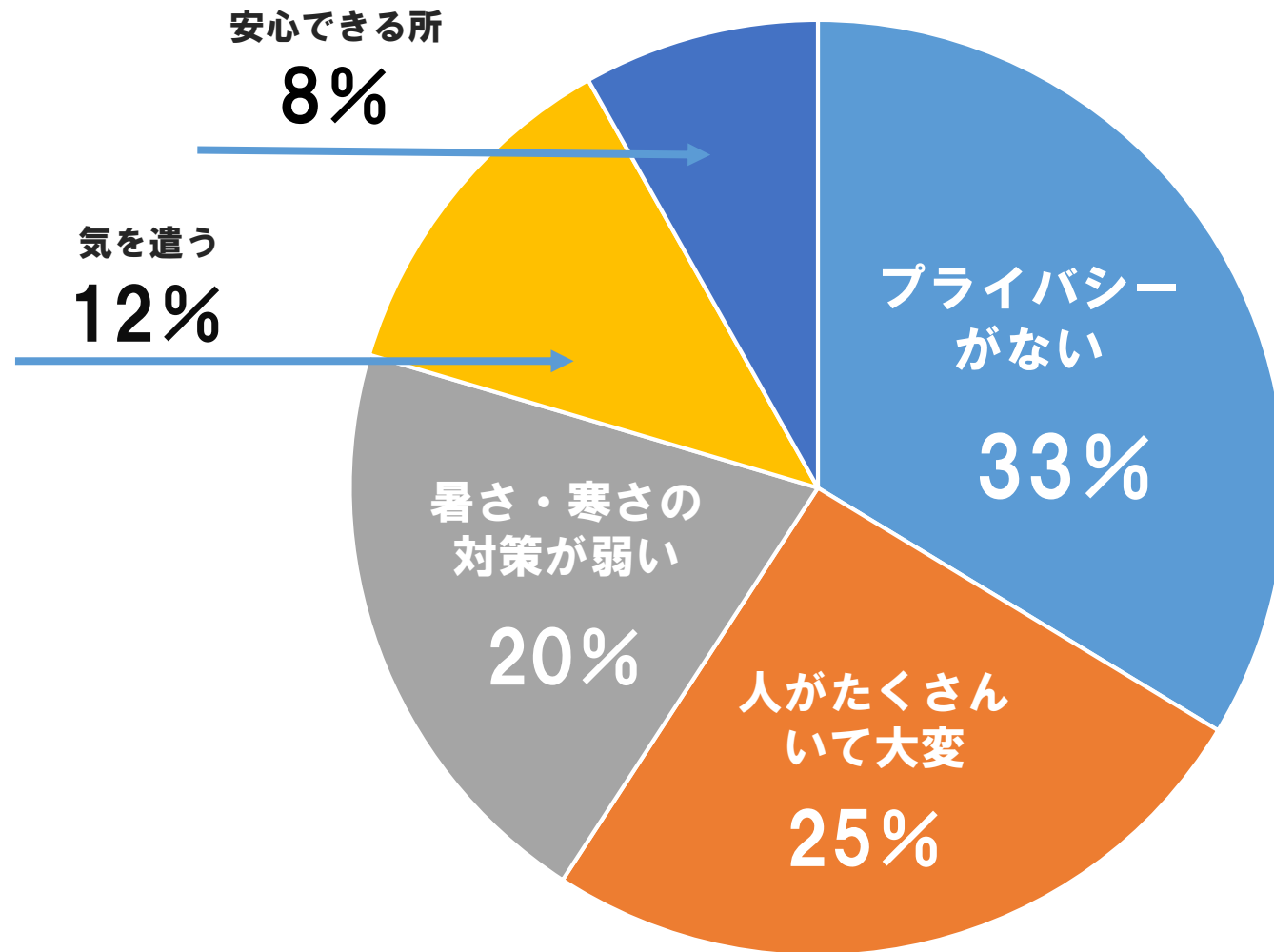
仮説

多くの人は避難所の生活にストレスを感じて
いて、避難所の生活には
もっと **豊かさを求めるべき**。

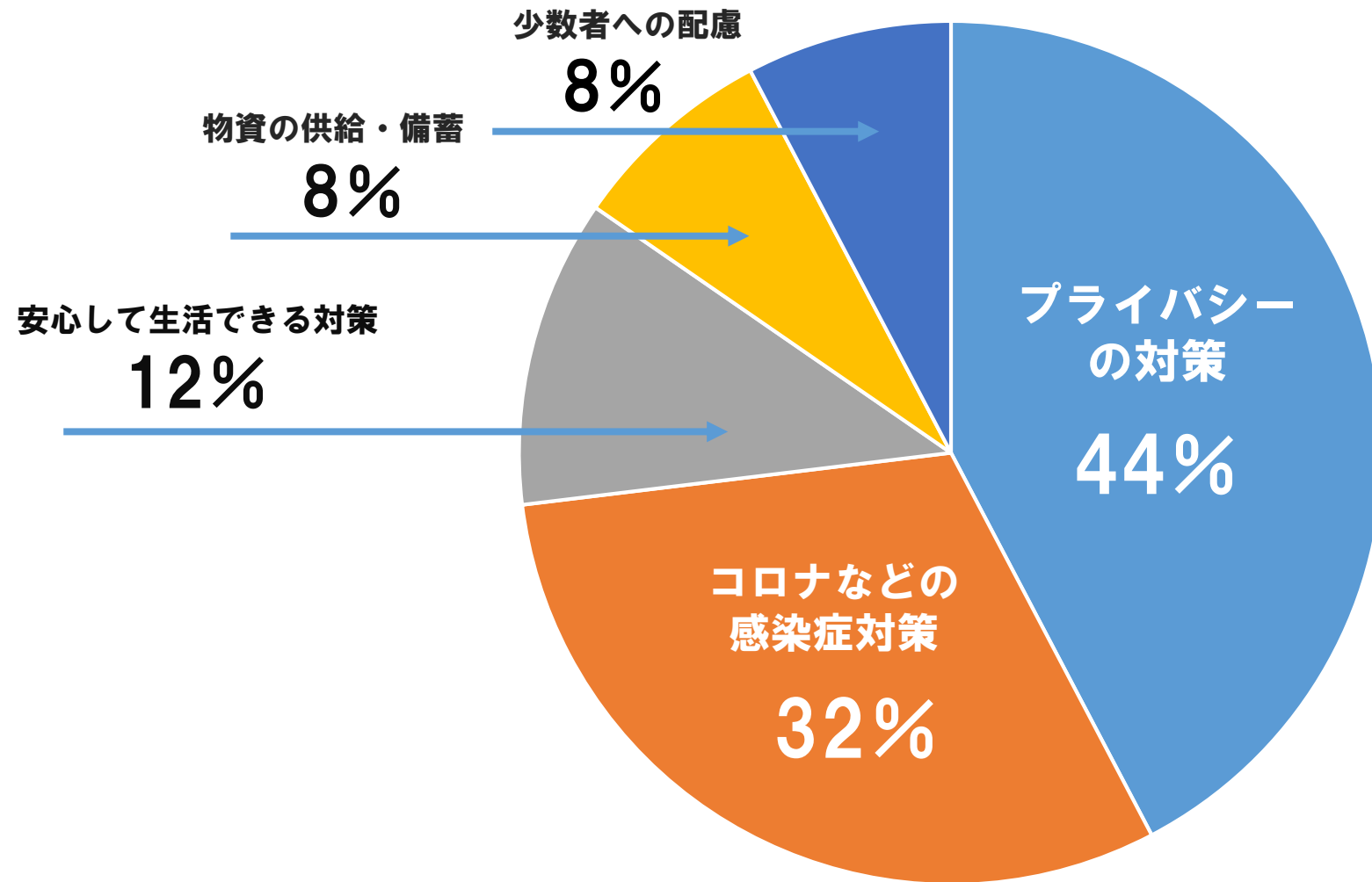
検証・結果

- ・ アンケート調査
- ・ ネット上の文献

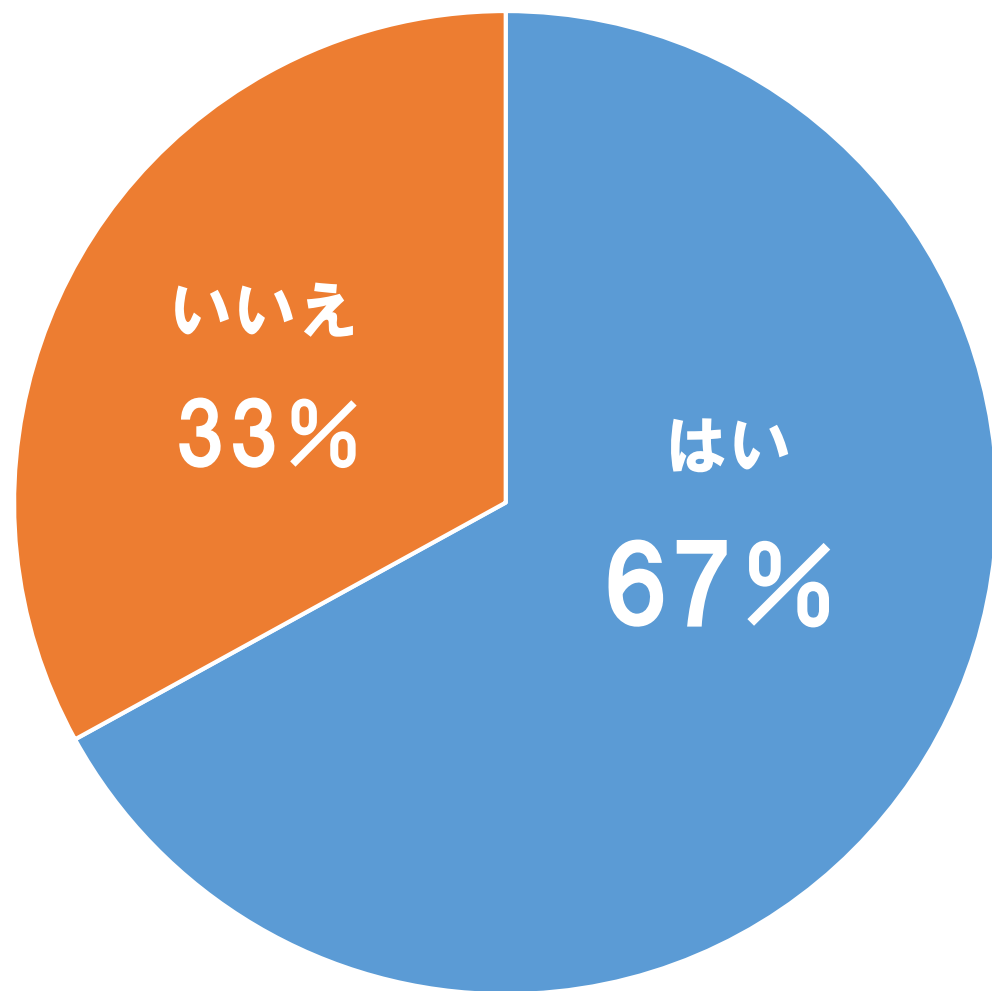
避難所にどんな印象を持っているか



現在避難所にはどのような改善が必要だと思うか



避難所で生活の豊かさを求めるべきか



はい

- ・ ストレス軽減などの精神面の支えのため多少は必要
- ・ 避難生活が長くなるならある程度求めてもいい

いいえ

- ・ 最低限度の対策があればいい
- ・ 避難できただけありがたい

検証・結果

- ・そもそも避難所の定義とは？

「災害によって生活基盤で
ある住まいを失ったり、生活に困窮する被災者に対して、
一時的に、**経済的な負担なしで最低限の生活を
送れるよう支え合う** 場所」 (災害救助法第二十三条)

Q.日本と同じ地震国であるイタリアの避難所ではどのような対応をしている？

- 1.まったく食べ物や必要な物資が供給されない
- 2.すぐに物資が供給されるが生活できる場所が十分に確保されない
- 3.必要な物資や場所が供給されるうえ、食事も温かいものが提供される

正解は…

3. 必要な物資や場所が供給されるうえ、
食事も温かいものが提供される

検証・結果

- ・ 海外の避難所対応

「欧米の避難所は一人当たり4平方メートルの広さが必要とされ、簡易ベッドを全員使用することになっている。食事はキッチンカーで作ってできる限り温かいものが提供され、トイレとシャワー付きのコンテナも備えられている」

(出典：「雑魚寝」の避難所は変わったのか？欧米との差は歴然 (HuffPost))

考察

- 実際に避難したことのない人でも避難所の大きな問題であるプライバシー保護についての問題は知られている
 - イタリアでは、避難所の設備が充実しており、仮設住宅が足りなくなれば公費でホテルに避難させられる
- 日本に比べ災害後の生活が「**豊か**」だといえる。

結論

- 定義では「必要最低限」とあるが、ある程度の豊かさを求めるべきという意識を持っている人は多い
- 海外の避難所では早急に必要な物資が供給されるうえ、生活に必要な場所が大きく確保される。

結論

- 日本は海外の避難所のように対応できる能力はあるはずだが現在の避難所の現状では「豊か」とは言えない

⇒ 避難所の生活に **もっと豊かさを求めるべき** であり、運営側の備蓄設備拡大やプライバシー対策強化などの対応が必要といえる。

ご清聴
ありがとうございました

